

伊平屋方言の形容詞の活用と文法的な形について

目差尚太（琉球大学博士後期課程／日本学術振興会 DC）

1 調査目的

本調査は、伊平屋村方言の言語活動を支える、形容詞の活用形と様々な文法的な形について明らかにすることを目的としている。表記は、簡略的な音声表記と標準語訳に分ける。[]には話者が発話するにあたっての場面設定や前提、単語の省略等を補いとして記入する。

2 調査対象

調査の対象は、A) 終止、連体、連用、条件形に現れる、様々な文法的な形にはどのような形があるか、B) その形の単語づくりとしての用いられ方、2つである。

3 伊平屋方言の形容詞

特性形容詞は、恒常的に存在する人や物の側面的な特徴を表す。状態形容詞は、人の生理的な、あるいは心理的な、一時的な状態を表したり、物や空間の一時的な状態を表す形容詞である。記述は、終止形、非終止（連体形、連用形、条件形）の順に記述していく。

3.1 形容詞の文法的な形

特性形容詞の用例には、「ma:haN（おいしい）」を代表し、状態形容詞の用例には、「hadʒikahaN 恥ずかしい」を代表して用いている。第1と第2の違いは、意味的なものではなく、語構成上の違いである。第2状態形容詞は、調査が十分ではないので、表にはしていない。なお、第1特性形容詞は野甫方言のもので、それ以外は島尻方言のものである。

第1 特性形容詞					肯定		否定	
					非過去	過去	非過去	過去
完結	終止形	平叙	直接	〈断定〉	ma:haN	ma:hataN	ma:ku ne:N	ma:ku ne:NtaN
			間接	〈推量〉	ma:hanu haɟi	ma:hataru haɟi	ma:ku ne:nu haɟi	?
		質問	〈肯否質問〉	ma:hami	ma:ha:ti:	ma:ku neni:	?	
非完結	連体形				ma:hanu	ma:hatanu	ma:ku ne:N	?
	連用形				ma:hanu		ma:ku ne:na	
	条件形	まさめ	原因・理由	ma:hatu	ma:hata <u>tu</u>	ma:ku neN <u>tu</u>	ma:ku ne:Ntatu	
			条件・前提	①ma:haro: ②ma:hataro:		ma:ku neN <u>ko</u> :		
		うらめ	うらめ・ゆずり	ma:hatiN	ma:hataN <u>te</u> N	ma:ku ne:N <u>ti</u> N	ma:ku ne:NtaN <u>te</u> N	

第2 特性形容詞					肯定		否定	
					非過去	過去	非過去	過去
完結	終止形	平叙・直説	直接	〈断定〉	ɖɔ:to:	ɖɔ:to jataN	ɖɔ:to: anaN	ɖɔ:to: araNtaN
			間接	〈推量〉	ɖɔ:to: jaru haɟi	?	?	ɖɔ:to: araNtaru haɟi
		質問	〈肯否質問〉	ɖɔ:to: jaimi	ɖɔ:to: jaimi	?	ɖɔ:to: araNti:	
非完結	連体形				ɖɔ:to:	ɖɔ:to jataN	ɖɔ:to: anaN	?
	連用形				ɖɔ:to:ne:		ɖɔ:to: araNna	
	条件形	まさめ	原因・理由	ɖɔ:to jatu	ɖɔ:to: jaitatu	ɖɔ:to: araNtatu	?	
			条件・前提	ɖɔ:to: jara:			ɖɔ:to: araNro:	
		うらめ	うらめ・ゆずり	ɖɔ:to: jatiN	ɖɔ:to: jatafga	?	?	

第1 状態形容詞				肯定		否定		
				非過去	過去	非過去	過去	
完結	終止形	平叙・直説	直接	〈断定〉	hadʒikahaN	hadʒikahataN	hadʒikaku ne:Nro:	hadʒikaku ne:NtaN
		質問	間接	〈推量〉	?	hadʒikahataN hadʒi	hadʒikaku ne:nu hadʒi	hadʒikakuja ne:Ntanu hadʒi
			質問	〈肯否質問〉	hadʒikahami	hadʒikaharuti:	hadʒikaku ne:ni:	hadʒikaku ne:Nruti
非完結	連体形			hadʒikahanu	hadʒikahataN	hadʒikaku ne:N	?	
	連用形			hadʒikahanu				?
	条件形	まさめ	原因・理由	hadʒikaha:tu	hadʒikahata:tu	hadʒikaku ne:Ntu	hadʒikaku ne:Ntatu	
			条件・前提	hadʒikaharo:	hadʒikaku ne:Nko:	hadʒikaku ne:Nko:	?	
	うらめ	うらめ・ゆずり	①hadʒikahaʒiga ②hadʒikahataNteN	hadʒikaha:taʒiga	①hadʒikaku ne:Nʒiga ②hadʒikaku ne:NtaNteN	①hadʒikaku ne:Ntaʒiga ②hadʒikaku ne:NtaNteN		

3.1.1 終止形

終止形は、主語で述べられる物に対して、その述べられる物のもつ特性や状態を述べる文の部分＝述語であり、文を完結させる述語の形である。〈断定〉と〈推量〉、〈質問〉と〈疑問〉などの、話し手の陳述的な態度が文によって表現される場合、伊平屋方言の形容詞の終止形には様々な形が見られた。以下に、伊平屋方言の形容詞の終止形の様々な形をあげるが、終止形は、〈断定〉と〈推量〉、〈質問〉と〈疑問〉など、文のモダリティのレベルで記述しておくことにする。

3.1.1.1 平叙文の終止形

伊平屋方言の平叙文の調査には、〈断定〉、〈体験的確認〉、〈意識的確認〉、〈表出(感嘆)〉、〈驚き〉、〈推量〉、〈間接的エヴィデンシャルティ〉をモダリティとして持つ文について取り上げて調査した。しかし、それらのモダリティは、ムードとして分化していないと考えられるので、省略して以下に記述していく。

3.1.1.1.1 〈断定〉

〈断定〉は、現実世界の出来事を経験したり、事実確認したものとして文の対象的な内容にとりこむ、話し手の陳述的な態度である。間接的に確認したかどうかという〈話し手

の確認のし方)という点で、(推量)と主に対立するモダリティである。

●第1 特性形容詞

1)aNmanu gohaNja ma:haNdo:.

お母さんの ごはんは おいしいよ。【肯定・非過去形】

2)Nkafija amanu fjaNpuru:N hoNto:ni ma:hataN.

昔は あそこの チャンプルーも 本当に おいしかった。【肯定・過去形】

[今も店はあるが、作る人が変わって味が全く変わってしまった]

3)ne:ne:ga gohaNja ma:ku ne:Ndo:.

お姉ちゃんの ごはんは おいしく ないよ。【否定・非過去形】

4)hoNtorari:amanu irifaja Nkafi ma:ku ne:NtaNdo:.

本当? あそこの チャンプルーは 昔 おいしく なかったよ。【否定・過去形】

[店はまだあるが、作る人が変わって味が全く変わって、今は美味しいということに対して]

●第2 特性形容詞

5)ariga kurumaja dzo:to:. wa: kurumaja dzo:to: anaN.

あいつの 車は 良いもの。俺の 車は 良いものではない。【肯定・非過去形】

6)me:nu kuruma:N diteN dzo:to jataN.

前の 車も とても 良い物だった。【肯定・過去形】

7)ariga kurumaja dzo:to:.. wa: kurumaja dzo:to: anaN.

あいつの 車は 良いもの。俺の 車は 良いものではない。【否定・非過去形】

8)anu kurumaja dzo:to: araNtaNdo:.

あの 車は 上等ではなかったよ。【否定・過去形】

●第1 状態形容詞

9)uNtu he: tsu:nu me:ne abifija hadzikahaN.

こう して 人の 前で 話すのは 恥ずかしい。【肯定・非過去形】

10)fiNnu fu:nu me:ne: hanafi jifan tufi, hadzikahataN.

昨日 人の 前で 話を した 時、 恥ずしかった。【肯定・過去形】

11) [恥ずかしくないか聞かれたが、自分は目立ちたがり屋なので]

hadzikaku ne:Nro:.

恥ずしく ないよ。【否定・非過去形】

12) [お祝いの言葉を話していた時、恥ずしくなかった?と聞かれて]

aN tufija hadzikaku ne:NtaN.

あの 時は 恥ずかしく なかった。【肯定・過去形】

「hadzikaharu」という形式も現れているが、このモダリティについては未詳である。

13)uNtu he: hadzikaha ho:fi nu:figaru hadzikaharu.

こう して 恥ずかしく しているの を 見る方が 恥ずかしい。【肯定・非過去形】

●第2 状態形容詞

14)ariga ku:nu ʃiNja diteN iΦuna jassa:.

あいつの 今日の 服は とても 変だなあ。【肯定・非過去形】

15)ʃiNnu sugainuN iΦuna jataNro:.

昨日の 恰好も 変だったよ。【肯定・過去形】

16)wata taNme:ja ʃu:N gaNdzu:.

私たちの おじいちゃんは いつも 元気だ。【肯定・非過去形】

17)ʃiNnu:N gaNdzu: jataN.

昨日も 元気だった。【肯定・過去形】

18)geNki ne:taNro:.

元気じゃなかったよ。【否定・非過去形】

- 「元気が なかったよ。」の可能性もある。他の活用形における否定形を参照。

3.1.1.1.2 〈推量〉

〈推量〉は、経験のなかにすでに確認されている事実、あるいは、すでに証明されている判断をよりどころに現実世界の出来事を、想像・判断によって間接的に確認したものとして文の対象的な内容にとりこむ、話し手の陳述的な態度である。間接的に確認したかどうかという〈話し手の確認のし方〉という点で、〈断定〉と対立するモダリティである。

●第1 特性形容詞

19)kumanu misenu ʃaNpuru:ja hoNto:ni ma:hanu hadzija.[行列をみて]

この店の チャンプルーは 本当に おいしいんだろうなあ。【肯定・非過去形】

20)amanu misenu ʃaNuruja ma:hataru hadzija.

あそこの店の チャンプルーは おいしかったんだろうなあ。【肯定・過去形】
[昔はおいしかったと残念そうに言うのを聞いて]

21)arija ma:ku ne:nu hadzi.[隣の席のある料理がたくさん残されているので]

あれは おいしく ないんだろう。【否定・非過去形】

●第2 特性形容詞

22)taro:ga ko:tanu mi:kurumaN dzo:to: jaru hadzija/dzo:to: jara hadzija.

太郎が 買った 新車も 良い物だろうね。【肯定・非過去形】

23)ʃa: ko:rije:, ʃi:fihe:, dzo:to: araNtaru hadziro:.

すぐ 壊れて、直して、上等じゃなかったんだろうよ。【否定・過去形】

●第1 状態形容詞

24)[この間のスピーチでモジモジしながら話していたのを思い出して]

aN tuʃija hadzihakataru hadziro:.

あの時は 恥ずかしかったんだろう。【肯定・過去形】

25)ʃu:nu me:N jataNteN hadzikaku ne:nu hadziro:.

人の 前でも 恥ずかしく ないんだろうよ。【否定・非過去形】

26)[発表会があったということを聞いて]

ariga kutu jatu, hadzikakuja ne:Ntanu hadziro:.

あいつの ことだから、恥しくは なかったんだろう。【否定・過去形】

●第2状態形容詞

27) aŋaŋ gaNdʒu: jaru hadʒiro:/gaNdʒu: hadʒiro:.

明日も 元気だろう。【肯定・非過去形】

28) aŋaŋ kana: dʒi iΦuna hadʒiro: ja.

明日も [恰好は] きっと 変だろうね。【肯定・非過去形】

3.1.1.1.3 〈間接的エヴィデンシャルティ〉

〈間接エヴィデンシャルティ〉は、話し手によってアクチュアルに直接的に事実確認された、表情やふるまい、記録などの証拠を通して、現実世界の出来事を間接的に確認したものとして文の対象的な内容にとりこむ、話し手の陳述的な態度である。表情やふるまい、痕跡などの間接的な結果などの証拠を通じた場合は、間接的な確認(事実未確認)であり、思考を表現するという点では〈推量〉に近づくが、法則的な知識や公理などの証拠をもとにした〈推量〉とは、アクチュアルな物(証拠)を媒介にするという点で異なる。

「-ka」と「形容詞語幹-ha jeN」との関係は未調査である。なお、「-harassaja」「harussaja」「ba(:)ssaja」「ba:russaja」は、別のモダリティを表す終助辞である可能性が高い。ある心理＝思考過程が別のさまざまな心理＝思考過程を構成に持っていて、間接的エヴィデンシャルティとして言語の意味に固定化するまでに、その別の過程を切り取って固定化して表現している可能性、あるいは、全く別のある心理＝思考過程によって切り取られている可能性がある。それらの形式をもつ文が、話しあいの構造の中でどのような文と関係しているか、今後調査していく必要がある。

●第1特性形容詞

29)[店から出てくる人達の顔が満足そうなので]

ma:haraka/ma:harassaja:.

この 店の チャンプルーは おいしいのだ。【肯定・非過去形】

30) hoNto: ni ma:ku neNdaka:.

本当に おいしく なかったんだろう。[驚いている顔を見て]

31) ma:ha jessaja.

あの 店の チャンプルーは おいしかったのだ/おいしかったのにちがいない
[店から出てくる人たちの顔が満足そうだったのを思い出して] 【肯定・過去形】

●第1状態形容詞

32) hadʒikaharussaja:.

恥ずかしいんだなあ。[顔が真っ赤になっているのを見て] 【肯定・非過去形】

33) hadʒikakuja ne:Nbassaja.

恥ずかしくは ないんだなあ。[人前でも楽しく話しているのを見て] 【否定・非過去形】

34)[人前で話している時、顔が真っ赤ではないが、早口だったのを思い出して]

ari jatiN hadʒikahataNba:ssaja.

あいつでも 恥ずかしかったんだなあ。【肯定・過去形】

35) aNfe:, aN tuʃiN hadzihakataNba:russaja:.

じゃあ、あの時も 恥ずかしかったんだなあ。【肯定・過去形】

36)[恥ずかしがり屋だが、人前でも楽しく、ゆっくり話していたのを思い出して]

aN tuʃija hadzikaku ne:NtaNbassaja.

あの時は 恥ずかしく なかったんだなあ。【否定・非過去形】

3.1.1.2 質問文の終止形

伊平屋方言の質問文の調査には、〈肯否質問〉、〈疑問詞質問〉をモダリティとして持つ文を取り上げて調査した。以下、順にしたがって記述する。

3.1.1.2.1 肯否質問文の終止形

〈肯否質問〉は、ある出来事が実際にそうであるのか、そうではないのか話し手が知りたくて、そして、聞き手の是非を通してたしかめたい現実世界の出来事を文の対象的な内容にとりこむ、話し手の陳述的な態度である。

●第1 特性形容詞

37) ne:ne:ga muNja ma:hami.

お姉ちゃんの ごはんは おいしい? 【肯定・非過去形】

38) ama:nu iriʃa:ja ma:ha:ti:. 【肯定・過去形】

あそこの チャンプルーは おいしかったか? [今はもうなくておいしくない]

39) ma:ku neni:/ma:ku neNdari:. 【否定・非過去形】

おいしく ないのか? [正直に言うことを躊躇っているように見えたので]

●第2 特性形容詞

40) dʒiro: kuruma dʒo:to: jaimi.

次郎の 車 上等? 【肯定・非過去形】

41) ja:ga nu:jo:taru kuruma dʒo:to: jaiti:.

お前が 乗っていた 車 上等だった? 【肯定・過去形】

42) ja:ga me: muʃo:taru kuruma dʒo:to: araNti:.

お前が 前 持っていた 車 上等じゃなかったの? 【否定・過去形】

●第1 状態形容詞

43)[子供がなかなか自己紹介しないのを見て]

hadzihakami / hadzihakari:.

恥ずかしい? 【肯定・非過去形】

44) [お祝いの時に皆の前でスピーチをしていたので]

A : aN tuʃija hadzihakaruti: / hadzihakataraja:.

あの時は 恥ずかしかった? / 恥ずかしかったら? 【肯定・過去形】

45)[いつもとは違って、たくさん話しているので]

hadzikaku ne:ni:.

恥ずかしく ない？【否定・非過去形】

46) [いつもとは違って、先日たくさん話していたことが気になっていたので]

aN tuʃija hadzikaku ne:Nruti:.

あの 時は 恥ずかしく なかったの？【否定・過去形】

用例 47 は、意外な事実の出来事を知って、たずね返す時は、別の形式で現れた。

47)[人前でよく話せる人が、実は恥ずかしいと言ったのを聞いて]

je:, hadzihakataNna/hadzihakataN.uNtu ʔu:dzike: mi:raNtaN.

ええっ、恥ずかしかったの？ そんな 風に 見えなかった。【肯定・過去形】

●第2 状態形容詞

48)ʃa: gaNdzu:ri:.

いつも 元気？【肯定・非過去形】

49)gaNdzuro:, ja:jahe: geNki jaNmi:.

元気だよ。お前はよ。元気？【肯定・非過去形】

50)ʃu:ja geNki jati:.

今日は 元気だった？【肯定・過去形】

51)ʃu:ja gaNdzu araNruri:.

今日は 元気じゃないの？[元気がないことをたずねている] 【否定・過去形】

3.1.1.2.2 疑問詞質問文の終止形

〈疑問詞質問〉は、ある出来事を引き起こしたのは誰か（何か）、起こった出来事はいつか、なぜ起こったのかななどの情報が欠けた現実世界の出来事を文の対象的な内容にとりこみ、その欠けた情報を知りたくて、聞き手にたずねるという話し手の陳述的な態度である。そのため、疑問詞質問文では、聞き手にたずねる、その文の部分＝主語、補語などが、「nu:ga 何が」「duruga どれ・どっち」といった疑問詞になっている。

●第1 特性形容詞

52)nu:ga ma:hajo:.

何が おいしい？【肯定・非過去形】

53)duruga ma:ku ne:Njajo:.

どれが おいしく ないの？【肯定・非過去形】

[「俺の頼んだのはおいしくなかった」というのを聞いてメニュー表を見ながら]

54)duruga ma:hataga:.

どっちが おいしかった？【肯定・過去形】

55)nu:ga iʃibaN ma:hata:. 【肯定・過去形】

何が 一番 おいしかった？[今は作る人が変わって、おいしくない]

56)nu:ga iʃibaN ma:ku neNtaga:.

何が 一番 おいしく なかった？【否定・過去形】

[料理し始めのお姉ちゃんのごはんはほとんどおいしくなかったというので]

●第1 状態形容詞

57)[さっきまで話をしていたが、急に顔が赤くなり、しゃべらないので]

nu:ga hadzihakahajo:.

何が 恥ずかしいの? 【肯定・非過去形】

58)[話をしていた時に、急に顔が赤くなり、喋らなくなったことが気になっていたので]

nu:ga hadzihakahataru:.

何が 恥ずかしかったの? 【肯定・過去形】

59) diruga hadzihakahata:/hadzihakahataga.

勘違いした時と人の前で話すのは どっちが 恥ずかしかった? 【肯定・過去形】

60)fu:ja mata nu:ga hadzihakaku ne:Nga/ne:Nru.

今日は また なんて 恥ずかしく ないの? ●「ne:jo:/ne:」は不可。【否定・非過去形】

61)aN tufi:ja nu:ga hadzihakaku ne:taru/ne:Ntaga.

あの 時は なんて 恥ずかしく なかったの? 【否定・過去形】

3.1.2 連体形

連体形は、主語や補語、状況語にさしだされる内容を詳しくする、文の部分＝連体修飾語、規定語の形である。

●第1 特性形容詞

62)ma:hanu muNbika kamaNke:.

おいしい ものだけ 食べるな。【肯定・非過去形】

63)[おいしいチャンプルーを出していた店がなくなったので]

anu ma:hatanu irifja:ja ne:Nsaja:/neNdasaja:.

あの おいしかった チャンプルーは もう ないんだなあ。【肯定・過去形】

64)ma:ku ne:N munu kadiN, imiga ne:hani/ne:Nja.

おいしく ない ものを 食べても、意味が ないだろ? 【否定・非過去形】

●第2 特性形容詞

65)ɖʒo:to: kurumake nu:jo:taN.

立派な 車に 乗っていた。【肯定・非過去形】

66)ɖʒo:to: jataN kurumaga ɖʒikone: ko:ritanʃa:.

立派だった 車が 事故で 壊れたらしい。【肯定・過去形】

67)ɖʒo:to: anaN kurumaru ko:je ʃo:Nmahe:.

上等じゃない 車を 買って 来ているんだよ。【否定・非過去形】

第1 状態形容詞

68)hadzihakahanu kutuja haNke:.

恥ずかしい ことは するな。【肯定・非過去形】

69)hadzihakahataN kutuja na: wafire:.

恥ずかしかった ことは もう 忘れろ。【肯定・過去形】

70)tsu:nu me:ne: hanaʃi he:N, hadzikaku ne:N tsu:ja uN.

人の前で話をしても、恥しくない人はいる。【否定・非過去形】

●第2状態形容詞

71) [近くにいたる友だちみんなで見ても確かめあっている]

ʃiNnuNmadinu iʔuna sugaiga ʃu:ja no:jomahe:.

昨日までの変な恰好が今日は直っているよ。【肯定・非過去形】

●元々は「昨日まで変だった恰好が」。

72)gaNdzu: taNme: no:, mussaN.

元気なおじいちゃんを見ると、うれしい。【肯定・非過去形】

73)ki:samadi gaNdzu: jataNnu waraba:ga utuN idziramahe:. 【肯定・過去形】

さっきまで元気だった子供達が音も出さないよ(静かになった。)

74)geNki araN ba:ja itʃaNtu ho:.

元気じゃない時はどうしているの? 【否定・非過去形】

3.1.3 連用形

連用形は、動作や状態など物の属性をいくつか続ける働きをもった述語の形である。形容詞の連用形は、肯定の場合、連体形と同音形式である。

●第1特性形容詞

75)ma:hanu ohohataN.

おいしくて、多かった。【肯定】

76)arija ma:ku ne:na, aNdagu:saN.

あれはおいしくなくて、油っこそう。【否定】

●第2特性形容詞

77)taro:nu kurumaja dzo:to:ne:, haiʃiN he:haN.

太郎の車は良い物で、走るのもはやい。【肯定】

78) dzo:to: araNna, de:dʒi jataNro:.

[車は]上等じゃなくて、大変だったよ。【否定】

動詞「naN なる」や「mi:N 見える」と組み合わせさせて合成述語の要素として働くとき、「dzo:to:」と「dzo:to:ke」の形で現れた。

79)itʃaNtunu kurumaN araro:, dzo:to: naN.

どんな車も洗ったら、立派になる。

80)ʔuruguruma jatiN araro:, dzo:to:ke mi:N.

中古車でも洗ったら、立派に見える。

●第1状態形容詞

81)hadzikahanu, hanaʃi ʃi: haN.

恥ずかしくて、話せない。【肯定】

否定形容詞の連用形は、いまのところ「恥ずかしい」の場合では確認できていない。次のように、「形容詞の語幹＋代動詞（ΦuN する）」の否定・連用形でさしだされている。

82)arija haɟʒikaha ha:na, tsu:nu me:neN hanaʒi ɕi: ΦuN/hanaʒi naN.
あいつは 恥ずかしがらないで、人の 前でも 話せる。●元々は、「あいつは恥ずかしくなくて、」。

●第2 状態形容詞

83)sugainuN iΦunane:, atʃiʒo:N iΦuna jataN.
恰好も 変で、 歩いているのも（歩き方も） 変だった。【肯定】

84)gaNdʒu:ne:, keNko: jaN.
元気で、 健康だ。【肯定】

動詞「naN なる」と組み合わせさって述語として働く時、「iΦuna」「gaNdʒu:」形で現れた。

85)ariga ʒi:ro:/ʒikiro:,nu: jatiN iʒaNtu ʒiNnutaNteN iΦuna naijo.
あいつが 着れば、何でも どんな 服でも 変に なるよ。

86)taNme:ja utajo:taNteN,nu:ro:, gaNdʒu: naN.
おじいちゃんは 疲れても、 寝れば、元気に なる。

3.1.4 条件形

条件形は、文の対象的な内容にとりこまれた、現実世界のいくつかの出来事の間、様々な因果関係を表すために、文と文をつなげる機能を担った形である。つなげられる文と文は、条件となる出来事をさしだす文と、その出来事によって条件づけられた出来事をさしだす文とに分かれている。前者の文を《つきそい文》とよび、後者の文を《いいおわり文》とよぶ。つきそい文にさしだされる条件には、原因、理由、条件、前提(仮定)が代表される。

つきそい文＝条件 いいおわり文＝結果

namaja ma:ku neNtu, ʒu:ga uraNteNdo:.
今は おいしく ないので、人が いないってよ。

3.1.4.1 まさめ的な因果関係を表すつきそい文にあらわれる形

原因、理由、条件、前提(仮定)が条件となり、それが有効に働き、結果となる出来事が起こるという関係を表すつきそい・あわせ文がある。そのようなつきそい・あわせ文のことを、ひとまとめにして、《まさめ的な条件・結果のつきそい・あわせ文》とよぶことにする。伊平屋方言のまさめ的な因果関係を表す条件形は、1)原因・理由形、2)条件・前提(仮定)形のふたつに分けられる。以下、順にしたがって述べる。

3.1.4.1.1 原因・理由的なつきそい・あわせ文に現れる形

伊平屋方言の原因・理由的なつきそい・あわせ文に現れる形は、原因と理由を形式上区別していない。

●第1 特性形容詞

87)jukuŋi araNdo:ΦuNtu:ni ma:hatu, namakara kamiNga ika:.
嘘じゃないよ！本当に おいしいから、今から 食べに 行こう。【肯定・非過去形】

88)jaŋiga, ma:hatatu, juku kamiNga NdzaN.
けど、おいしかったから、よく 食べに 行った。【肯定・過去形】

89) iriŋa:ja ma:ku ne:Ntu, kamiga ikaNke:.
[あの店の]チャンプルーは おいしく ないから、食べに 行くな。【否定・非過去形】

90)ma:ku ne:NtaNtu, waNja aNmari kamiNga ikaNtaNdo:.
おいしく なかったから、自分は あまり 食べに 行かなかったよ。【否定・過去形】

●第2 特性形容詞

91)unu kuruma ɔzo:to jatu,ko:N.
この 車が 良いから、買う。【肯定・非過去形】

92)ɔzo:to: jaitatu, nage: nu:jo:ruhani.
上等だったから、長く 乗っているよね。【肯定・過去形】

93)ɔzo:to: araNtaturu, ko:rijohani.
上等じゃなかったからこそ、壊れてるんだよね。【否定・過去形】

●第1 状態形容詞

94)munu wakaraNŋija hadzikaha:tu, bu:ru beNkjo:ΦuN.
物が 分からないのは 恥ずかしいから、みんな 勉強する。【肯定・非過去形】

95)tsu:nu me:ne: hanaŋi Φu:ŋija hadzikahata:tu, iNgaNtaN. 【肯定・過去形】
人の 前で 話すのは 恥ずかしかったから、行かなかった。

96)waNja hadzikaku ne:Ntu, wa:ga abiN.
私は 恥ずかしく ないから、私が 話す。【否定・非過去形】

97)gumahaN tuŋija hadzikaku ne:Ntatu, tsu:nu me:neN hanaŋi Φu:taN/ho:taN.
小さい 時は 恥ずかしく なかったから、人の前でも 話していた。【否定・過去形】

●第2 状態形容詞

98)ariga sugaija iŋiN iΦuna jatu,naraNba:jo:.
あいつの 恰好は いつも 変だから、ダメなんだよ。【肯定・非過去形】

99)haNŋi:N gaNdzu: jatu,maNna ge:tobo:ru he: attsuN.
おばあちゃんも 元気だから、一緒に ゲートボールを して いる。【肯定・非過去形】

100)ŋiNnu:ja geNki jatatu, ŋigutu Ndze ŋoNro:.
昨日は 元気だったから、仕事に 行って 来ているよ。【肯定・過去形】

101) dʒiro:ja tsu:N geNki ne:Nturu, nu:gara airu Φutukaja. 【否定・非過去形】
次郎は 今日も 元気が ないから、何か あったのかな。●「元気じゃないから」

3.1.4.1.2 条件・前提(仮定)的なつきそい・あわせ文に現れる形

伊平屋方言の条件・前提的なつきそい・あわせ文に現れる形は、条件と前提を区別していない。

●第1 特性形容詞

102) ma:haro:/ma:hataro:. ika:.

本当に おいしいなら、 行こう。【肯定・非過去形】

103) iriŋa:ga ma:hataro:. iŋfutaNdo:.

チャンプルーが おいしかったら、[私は]どこでも 行っていたよ。【肯定・過去形】

104) ma:ku ne:Nko:. kamaNdari.

おいしく なければ、[お前は]食べないのか? 【否定・非過去形】

105) ma:ku ne:Nko:. juku nuΦuΦutaNja:.

おいしく なかったら、[おじいちゃんは]よく 残していたね。【否定・非過去形】

●第2 特性形容詞

106) taro:N kurumaga dʒo:to: jara:. nui busassaja.

太郎の 車が 良かったら、乗って みたいなあ。【肯定・非過去形】

107) dʒo:to: araNro:. ko:raNŋi maŋi arani.

上等じゃないなら、買わない方が いいんじゃないかな。【否定・非過去形】

●第1 状態形容詞

108) hadʒikaharo:. abiŋi he:ku naN.

恥ずかしければ、話すのが はやく なる。【肯定・非過去形】

109) hadʒikaharo:ja. ja:ke ke:re:/ke: ŋimuNro:.

恥ずかしければ、家に 帰れ/帰って いいよ。●この場合、やさしい態度がある。

110) hadʒikahara:. ja:ke ke:re:.

恥ずかしいなら、家に 帰れ。●この場合、きつい態度があるとのこと。

111) hadʒikaku ne:Nko:. he:ku Φu:wa.

恥ずかしく ないなら、はやく 来い。【否定・非過去形】

112) hadʒikaku ne:Nko:. ŋu:ŋiga maŋi jataN.

恥ずかしく ないなら、来るのが よかった。【否定・非過去形】

●第2 状態形容詞

113) ŋu:N iΦuna jatara:. je: turuΦuN.

今日も 変だったら、言って やろう。【肯定・非過去形】

114) taNme:N haNŋi:N gandʒu: jatara. kaΦu: jassa.

おじいちゃんも おばあちゃんも 元気だったら、幸せだなあ。【肯定・非過去形】

115) geNki jataro:, umi ifutarufiga, geNki araNtatu, da:N ifi haN. 【否定・非過去形】

元気だったら、海に 行ったけど、元気じゃなかったら、どこにも 行けない。

116) geNki araNko:, so:je ifufi ma:fi arani. 【否定・非過去形】

元気じゃなかったら、連れて 行くのが いいんじゃないかな。

3.1.4.2 うらめ的な因果関係を表すつきそい文にあらわれる形

条件となる出来事が有効に働かず、結果となるべき出来事が起こらなかつたり、逆に起こるといふ関係を表すつきそい・あわせ文がある。そのようなつきそい・あわせ文のことを《うらめ的な条件・結果のつきそい・あわせ文》とよぶ。

3.1.4.2.1 うらめ・ゆずり的なつきそい・あわせ文に現れる形

伊平屋方言のうらめ・ゆずり的なつきそい・あわせ文に現れる形はうらめとゆずりを区別していないが、「figa」系はうらめへ、「teN/tiN」系はゆずりへと表現される傾向がある。

●第1 特性形容詞

117) ma:hafiga, nuΦuho:sa.

おいしいのに、残している！【肯定・非過去】

118) iriŋa:ga ma:hataNfiga/ma:hataNteN, kamiNga ikaNtaN.

チャンプルーが おいしかったのに、 食べに 行かなかったんだ。【肯定・過去】

119) uNte uΦuharo:, ma:hatiN, kami haNdo:.

こんなに 多かったら、おいしくても、食べれないよ。【肯定・非過去】

120) ma:ku ne:NtiN, nuΦuhana kanuNdo:.

おいしく なくても、残さず 食べるよ。【否定・非過去】

121) ma:ku ne:NtaNteN, ŋe:rutaka.

おいしく なかったのに、来てたんだ。【否定・過去】

122) ma:hatafiga, ifiN kamihaNtaNssa:.

おいしかったとしても、いつも 食べられなかったよ。【否定・過去】

●第2 特性形容詞

123) dzo:to: jataŋigaja/dzo:to: jatiN, do:guŋikai arahanuru, he:ku jaNrjo:sa.

上等だったけどね/上等でも、道具使い 荒くて、 早く 壊れているぞ。【肯定・過去/肯定・非過去】

上等の否定形は、語彙的に補われて、jana jati N で表現される場合が確認できた。

124) do:guja tsuraku ŋikaine:, jana jatiN, nagamuŋi ΦuN

道具は きれいに 使えば、ダメなものでも、長持ちする。[元々は、「上等じゃなくても」]

●第1 状態形容詞

125) hadzikaha:figa, tsu:nu me:ne: hanafi ΦuNro:. ja:N iΦigwa minarae:.
 恥ずかしいのに、人の前で話しているんだよ。お前もちょっと見習え。【肯定・非過去】

126) hadzikaha:tafiga, tsu:nu me:ne hanafi nataNro:, nu:gaja:.
 恥ずかしかったのに、人の前で話せたんだよ。なんでかなあ。【肯定・過去】

127)[目立ちたがり屋な人がなかなか来ないので、不思議がって]

hadzikaku ne:Nfiga, iNɔje: ΦuN.
 恥ずかしくもないのに、出て来ないんだ。【否定・非過去】

128)[自分は人前でも恥ずかしくない性格なのに、]

hadzikaku ne:Ntafiga, hanafi naraNtaN.
 恥ずかしくなかったのに、話せなかったんだ。【否定・過去】

129) hadzikahataNteN,fibaje: hanafi fiʃa:naNro:.
 恥ずかしくても、頑張って話したよ。【肯定・非過去】

130) hadzikaku ne:NtaNteN,fira:ja makkara: naN.
 恥ずかしくなくても、顔は真っ赤になる。【否定・非過去】

●第2 状態形容詞

131) fiNnu geNki jatafiga, fu: jukuraharitaN. 【肯定・過去】
 昨日 元気だったけど、今日 休ませられた。●「元気だったのに」

インフォーマントの方

【野甫方言】

A: S29 年生、伊平屋出身、伊平屋育ち。結婚してから那覇で 5 年ほど住んでいた経験あり。

B: S24 年生、伊平屋出身、伊平屋育ち。20 代に伊平屋から出て、S63 年に伊平屋に戻る。

【島尻方言】

C: S33 年生、伊平屋出身。

【参考文献】

- ・工藤真由美 2007 『日本語形容詞の文法』 ひつじ書房
- ・工藤真由美 2014 『現代日本語ムード・テンス・アスペクト論』 ひつじ書房
- ・言語学研究会・構文論グループ 1986 「条件づけを表現するつきそい・あわせ文—その体系性をめぐって—」 『教育国語』 84 号 むぎ書房
- ・名護市史編さん委員会 2006 「14 節 伊平屋村の方言」 『名護市史本編・10 言語』 所収 名護市役所 p270-277
- ・琉球方言研究クラブ 1975 「伊平屋村我喜屋方言の形容詞」